

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
第5回総会 摘録

日時：令和6年8月28日（水）

15時30分～17時00分

場所：川崎市コンベンションホール

1 開会

○司会（かわさきFM大西社長）

これより、「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会 第5回総会」を開催いたします。

私は、本日司会を務めさせていただきます、かわさきFMの大西と申します。どうぞよろしくお願いたします。

こちらの時間をお借りしまして、少しだけ御挨拶を申し上げます。

今年度は市制100周年のアニバーサリーイヤーということで、非常に多くのイベントや取組が市内至る所で行われております。

たくさんの市民、企業団体が巻き込まれ、巻き込み、関わってということで、川崎市の100歳のお誕生日をみんなで見届けていきたいと思っております。

川崎市のこれからをつくる川崎の若者、子どもたちが大人になった時に、「川崎の100周年というのはすごかったな、楽しかったな」と、そういうように語ってくれるようなイベントがあちこちで行われることを大いに期待しております。

そして、幹事企業としてのかわさきFMも、放送やイベントを様々行います。100周年の盛り上げに貢献をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、開会にあたりまして、会長である福田紀彦川崎市市長より、御挨拶いただきたく存じます。

2 会長挨拶

○川崎市市長：福田 紀彦 会長

皆さん、こんにちは。今日は大変お忙しい中、こんなに多くの皆さんにお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

今日も、オンラインでも大変多数な方が御参加いただいているということで、改めて、どれくらいの実行委員会のメンバーになったのだろうと思って、今、資料を見ていましたら、395団体の皆さんが入っていただいていると。だんだん、ちょっとずつでも増えていっているということは大変うれしく思っております。

今、大西社長からお話があったように、「巻き込み、巻き込まれ」ということが日々行われているということは本当にうれしく思っています。

今年一年の始まりの賀詞交換会、川崎市の賀詞交換会に来ていただいた方はこの中にもたくさんいらっしゃると思いますが、そこでパフォーマンスをやっていただいたのがブレイキンの半井（なからい）選手とAMI選手で、そのAMIさんが今回、金メダルを獲るということで、今、お話があったように若い人たちの躍動というか、躍進というのがこの100周年の時にもまた増えているということは、川崎の元気を象徴していると感じました。そんな一年の始まりから、6月29日の

「かわさき飛躍祭」では、ブルーインパルスがお祝いにかけていただくということで、川崎市民だけではなく、首都圏などから多くの方が、「川崎市って100歳なんだ」ということを知っていただける大きな機会になったと思いますし、7月1日の式典には今日の実行委員会の皆さんも多数御参加をいただきましたが、混声合唱団や混成オーケストラということで約500人の皆さんで川崎の多彩で多様な、「いろいろって、未来。」という、川崎の多様性をお示しできるような、いい式典になったと思います。

全ての皆さんのご協力に心から感謝を申し上げたいと思いますし、いよいよ10月19日から「全国都市緑化かわさきフェア」が始まるということで、考えただけでもドキドキしてきますけれども、秋、春の2期開催ですのでぜひお越しいただければと思います。

また秋には他にも、11月2、3、4日の3日間は、「川崎愛 遊びつくす 3日間」と銘打ちまして、川崎駅前の市役所通り全面6車線を歩行者空間にして行うイベントなど、4つのイベントを同時期に開催する取組もごさいます。一年を通じて川崎を盛り上げる、そんな取組を皆さんと共にやっていきたいと思ひます。

今日御挨拶に来ていただいた洗足学園音楽大学さんも創立100周年ということで、お互い色々なかたちでつながれるということで、会場前の廊下にも展示してありますがコラボグッズやイベントなどが多彩に行われています。ぜひ川崎をみんなで楽しむ、100歳をお祝いする、そういった取組について、今日も忌憚のないご意見をいただければと思ひています。

また、この後、交流会もありまして、御参加いただける方の色を混ぜ合い、多彩な色を生み出す、価値を生み出すような機会にもできればいいなと思ひております。

今日は来賓、顧問の皆さんにもお忙しい中御出席をいただきましたことに心から感謝申し上げたいと思ひます。どうぞ成功に向けてのお力添えをどうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○司会（かわさきFM大西社長）

福田会長、ありがとうございました。

3 副会長・顧問御紹介

○司会（かわさきFM大西社長）

続きまして、本日出席の副会長の御紹介をさせていただきます。

～副会長紹介～

- ・川崎市議会議長：青木 功雄 副会長
- ・川崎商工会議所会頭：草壁 悟朗 副会長
- ・都市緑化機構理事長代理：専務理事 椰野 良明 様
- ・川崎市全町内会連合会 会長：持田 和夫 副会長
- ・川崎市総合文化団体連絡会 理事長：中村 紀美子 副会長
- ・川崎市副市長：加藤 順一 副会長
- ・川崎市副市長：藤倉 茂起 副会長
- ・川崎市副市長：三田村 有也 副会長

○司会（かわさきFM大西社長）

・続きまして、御臨席いただいている顧問の方を御紹介させていただきます。

～顧問紹介～

- ・国土交通省都市局長 代理 国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長：望月一彦 様
- ・国土交通省関東地方整備局長 代理 国土交通省関東地方整備局建政部長：市川 智秀様
- ・東京都市大学環境学部特別教授：涌井 史郎 様

○司会（かわさきFM大西社長）

オンラインにて、川崎市名誉市民で、東京理科大学栄誉教授の藤嶋昭様に御出席いただいております。また会場には、川崎市議会の岩隈千尋副議長にお越しいただいております。

役員を代表いたしまして、川崎市議会議長の青木功雄副会長より、御挨拶いただきたいと存じます。

4 副会長挨拶

○川崎市議会議長：青木功雄 副会長

皆さん、こんにちは。御紹介いただきました、川崎市議会議長の青木功雄でございます。当会で副会長も務めさせていただいております。皆様には日ごろより大変お世話になっておりますし、今、大西社長からお話があったとおり、アニバーサリーな一年、この100周年を皆さんに盛り上げていただいて、高い席ではございますが、心から感謝を申し上げさせていただきたいと思っております。

今年はどこに行っても、どんな会合も必ずはじめに、「市制100周年記念」ということが書いてあります。先程、福田市長からありましたように、もともとは200ちょっとだった実行委員会参画団体が、いまや400近くになっています。

盛り上がっていく時というのはこういうように色々輪が広がっていく時なのかなと思います。もしかすると、もっともっと参加したい方がいらっしゃるかもしれませんが、やはり、皆さんが仕込んできたことが一つ一つ形になって、今、この7月1日を迎えて、これからこの一年間、川崎の市民をどれだけ巻き込めるか、どれだけ川崎市民の外に向かっても、川崎市が日本国内、世界に貢献できるまちになってきたのだということをアピールしていただいている時かなというように思っております。

福田市長が常々、川崎市を「もっと知ってもらって、関わってもらって、好きになってもらう」、それでいて、川崎市がこれだけエネルギーをつくっていますが、二酸化炭素を排出している、このピンチをチャンスに変えて、ぜひこの緑化フェアを成功させて、緑とエネルギーの調和をやっていきたいということを議会の中でもお話をさせていただいております。

ぜひ今日お集まりの皆様、開催まであと52日となりました緑化フェアでございますが、みどりも、私たちの生活も、この両方を両立させていく、これが、川崎市が非常にできる位置にある、エネルギーをつくり出す、みどりをつくり出す位置にあるということを、今日、皆さんと共有していきたいと思っております。

あとは、市民の力を信じて、大きい仕事もあれば、子どもたちが植える、障害者の方が植える植木一本、植物一つを大事にしながら、これから川崎市の100年をお祝いしながら緑化フェア、川崎市の100周年を成功に導いていただけたらありがたいというように思っております。

顧問、関係団体を代表してということでございますが、皆さんと一緒に頑張っていくことをお誓いして、一言の御挨拶に代えさせていただきたいと思っております。いつもどうもありがとうございます。

○司会（かわさきFM大西社長）

青木副会長、ありがとうございます。

続きまして、顧問を代表いたしまして、国土交通省都市局公園緑地景観課緑地環境室長、望月一彦様より、御挨拶いただきたく存じます。

5 顧問挨拶

○国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長 望月一彦氏

皆様、おはようございます。ただいま御紹介いただきました、国土交通省で緑地環境室長をしております望月と申します。

本日は、「川崎市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会 第5回総会」、この総会がこのように盛大に、多くの皆様方に集まれて盛大に開催されること、誠に喜ばしく思っております。また、お招きをいただきまして大変ありがとうございます。一言御挨拶を申し上げたいと思います。

「都市緑化かわさきフェア」開幕まで、いよいよ1カ月半余りとなってまいりました。本日御出席の福田市長様をはじめ、100周年記念事業ならびに都市緑化フェアの開催に携わっておられる全ての皆様方のご尽力に、私の立場からも心から感謝を申し上げたいと思います。また、敬意を表したいと思っております。

さて、皆様ご承知のとおり、都市の緑につきましても、私たちの暮らしに身近な自然との触れ合いの場となって様々な効用をもたらすということと共に、近年におきましては、気候変動への対応、生物多様性保全、ウェルビーイング向上の観点からその重要性が指摘されておきまして、都市の緑の確保に取り組んでいくことについては、既に国際的な潮流になっているところでございます。

このような流れを受けまして多くの方がご案内のところかと思っておりますけれども、国土交通省におきましては、本年5月に都市緑地法という法律の一部改正を行いまして、都市の重要な緑地について、買入れの円滑化や緑地としての機能を高めるしくみ、また、民間企業の皆様が開出する緑地の質を評価して、国がそれを認定するという制度、こういったものを創設したというところでございます。

緑の法律の関係でいきますと、一つのエポックとなるような年になるというように私は思っておりますけれども、そうした年に、ここ川崎市におきまして、緑の持つポテンシャルを最大限に活用して、川崎らしい緑を全国に向けて発信していくことを目指す、「第41回全国都市緑化かわさきフェア」が開催されますことは大変意義深いものだと感じておるところでございます。

都市緑化フェア開催の歴史としては初めてということになりますけれども、秋と春の2回にわたって開催をいただくということで、そうした2期にわたる開催を通じまして、市民、企業、関係団体などの多様な主体との協働・共創によって新たな緑の文化を醸成して、誰もが暮らしやすく住み続けたいまちの実現に取り組む姿を全国に発信をしていただくと共に、フェアの開催を契機としまして、市民の皆様による緑を生かす活動がレガシーとなって、将来の川崎の豊かなまちづくりにつながっていくことを期待しているところでございます。

約3年後には同じ神奈川県下において、2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」が開催されます。園芸博では、花や緑との関わりと通じて、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造を目指しております。この「かわさきフェア」の延長にあるものとしたしまして、しっかりと連携をしてまいりたいと考えております。

結びに、市制100周年記念事業、全国都市緑化かわさきフェアの成功を心から祈念を致し

て私の御挨拶とさせていただきます。本日はお招きいただきまして大変ありがとうございます。

○司会（かわさきFM大西社長）

望月様、ありがとうございました。

続きまして、第5回総会を開会させていただきます。

会則第9条、20条に基づき、議事進行については会長の福田市長をお願いいたします。

6 報告

○会長（福田川崎市長）

それでは、議事を進行してまいります。

報告第1号「川崎市市制100周年記念事業の取組」について説明をお願いいたします。

【報告第1号：川崎市市制100周年記念事業の取組について】

○実行委員会事務局 石井担当課長

—「川崎市市制100周年記念事業の取組について」を説明

○ここから未来プロジェクト推進協議会準備会 水越副会長、宮野事務局長

—「実行委員会主催事業「音楽プロジェクト」」について説明

○鍵屋醸造所 佐藤氏、東海道BEER川崎宿工場 田中氏、柳沼氏

—実行委員会参画団体主催事業「川崎市内クラフトビール醸造所の100周年記念事業」

○会長（福田川崎市長）

ありがとうございました。報告第1号の説明と、実行委員会主催事業の音楽プロジェクト、実行委員会参画団体主催事業の市内クラフトビール醸造所の取組について御紹介をいただきました。

ただ今の説明について何かご質問などありましたらよろしくお願ひします。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、よろしければ次の報告に移らせていただきます。

報告第2号：全国都市緑化かわさきフェアの取組について

○会長（福田川崎市長）

続いて、報告第2号「全国都市緑化かわさきフェアの取組」について説明をお願いします。

○実行委員会事務局 岸担当課長

—「全国都市緑化かわさきフェアの取組について」を説明

○川崎市立川崎総合科学高校建設工学科3年生

—市役所通りに設置するパークレットの製作活動の紹介

○会長（福田川崎市長）

ありがとうございました。高校生の発表、素晴らしかったですね、感激しました。ありがとうございました。とっても完成が楽しみです。

それでは、報告第2号、そして、総合科学高校の活動について、何かご質問・ご意見などありましたら、よろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、特にご質問ないという事で、報告事項については以上となります。活動紹介をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

7 議事

○会長（福田川崎市長）

続きまして、議案第1号「令和5年度事業報告及び収支決算 市制100周年記念事業」及び議案第2号「令和5年度事業報告及び収支決算 全国都市緑化かわさきフェア」の2議案について説明をお願いいたします。

議案第1号：令和5年度事業報告及び収支決算（市制100周年記念事業）について

○実行委員会事務局 金井担当課長

—「令和5年度事業報告及び収支決算（市制100周年記念事業）について」を説明

議案第2号：令和5年度事業報告及び収支決算（全国都市緑化かわさきフェア）について

○実行委員会事務局 岸担当課長

—「令和5年度事業報告及び収支決算（全国都市緑化かわさきフェア）について」を説明

○会長（福田川崎市長）

ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明についてご質問などありましたら、よろしくをお願いいたします。

特にないようでありますので、議案第1号、第2号について、それぞれ決定してよろしいでしょうか。よろしければ拍手をもって、ご承認いただければと存じます。

（拍手をもって承認）

ありがとうございました。ただ今の議案第1号・2号については決定させていただきます。

円滑な議事進行にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。市制100周年の象徴的な事業であります、「全国都市緑化かわさきフェア」、いよいよ52日後という事になっております。

秋も、多くの市制100周年イベントが計画されておりますので、ぜひ皆さんで、「知って、これから関わって、好きになる」という事を、どれだけ多くの人たちを巻き込めるかというところが成功の鍵となりますので、どうか皆様の引き続きのご協力をお願いしたいと思います。

8 閉会

○司会（かわさきFM大西社長）

皆様、ありがとうございました。

閉会にあたり、公益財団法人都市緑化機構専務理事、椰野良明様に御挨拶をお願いしたいと存じます。椰野様、よろしくをお願いいたします。

○公益財団法人都市緑化機構：椰野専務理事

ただ今御紹介いただきました、都市緑化機構専務理事の椰野と申します。

閉会の御挨拶する前に、色々ご報告を聞かせていただきまして、どうもありがとうございました。

した。高校生の皆さんも素晴らしいプレゼンをしていただきまして、ありがとうございます。

また、100周年記念事業関係でも色々な企業の方がこの事業に参加していただいていると、まさに先程お話があった、巻き込むというのでしょうか、色々な方がこの事業に巻き込まれているというのか、巻き込んでいるのかよく分かりませんが、非常に素晴らしい取組をされている事を改めて再認識したところでございます。ありがとうございました。

それでは、閉会の御挨拶をさせていただきます。

本日は、実行委員会の顧問、役員、委員、参与の皆様にはご多用の中、第5回総会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。また、「かわさきフェア」関連の各議案につきまして、ご了承を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、「全国都市緑化かわさきフェア」の開催まで52日となりました。富士見公園、等々力緑地、生田緑地における会場準備も着実に進み、沿線の駅などでもフェアの開催を目にする機会も多くなってきております。

様々なイベントなどを通じ、フェア開催の機運も盛り上がりつつあり、花と緑の祭典を心待ちにされている方も多いのではないのでしょうか。ここに至るまでの関係者の皆様のご理解、ご支援に厚く御礼申し上げます。

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」というコンセプトの下、開催される今回の都市緑化フェアは、川崎市市制100周年記念事業同様、多くの市民、企業、関係団体が参加・連携するものとして画期的な取組になるものと存じます。これら様々な取組が次の100年に向けて継承されていく事を期待いたします。

フェア開催を契機として、緑の輪が市内、全国へと広がり、緑豊かで潤いのあるまちが形成される事、そして、「かわさきフェア」の大成功をご祈念申し上げ、閉会の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございました。

○会長（福田川崎市長）

すみません、既に椰野専務理事から閉会いただいたところなのですが、まだお時間がございますので、突然でありますけれども、大変お忙しい中御出席いただいておりますので、顧問の涌井先生、コメントをいただいてもよろしいでしょうか。

○司会（かわさきFM大西社長）

それでは、申し訳ございません。突然の流れではございますが、顧問で今日ご来場いただきました涌井先生、どうぞよろしく願いいたします。

○涌井顧問

あまりにも突然の事で大変びっくりしております。私は全国都市緑化フェア、いくつにも椰野さんのサポーターとして参画をしまいいっておりますし、また今度、2027年の横浜で開催されます「国際園芸博」のチェアパーソンという立場でもありますので、今回の川崎市の100周年ならびにそれに連動した都市緑化フェアについては、実は大変驚いているという事がございます。

それは一体何かというと、地域というのは、地域の皆さんが自分たちのこのスペースはコモンズだと。従って、もちろん、その公が色々な整備をしたり、あるいはその水準を高くしたりするのは、インフラを含めて当然ではあるけれども、ウェルビーイングな暮らしというものは、そこにいる人たちが様々なツールを持ちながらコミュニティを深め、高めていって相互の関係をつくる「共の空間」が自分たちのウェルビーイングの空間なのだと、こういうように考えていく時代になったのではないかなと考えております。

「公共」という言葉がございます。この公共という言葉をよく考えてみますと、今、改めて公・共で、「公共」と「市」という関係で、市は公共に寄り掛かり、公共は市に対して奉仕する、これが今までの当然の姿だったわけでありますが、ここで改めて我々はもう一度、自分たちの場所という事を考えていけば、公にだけ頼らず、改めて共を再構築する。

共を再構築する事によって、地域が助け合い、様々な形で災害あるいは緊急時に対応し、なおかつ、まちの質を磨き上げていくという事が非常に重要なのではないかと考えているわけです。

ところが、これを言ってみてもそう簡単ではございません。私がずっと経験してきた、唯一、この公共というものの中で「共」の役割が発揮出来るのは花や緑なのです。この花や緑というのは、どのような哲学やどのような思想、あるいは政治信条、あるいは宗教、こうしたものを全く超えて皆さんが共有する事が出来る、非常に具体的な価値の象徴だというように考えていただいて結構なのではないか。全国津々浦々を訪ねて、花や緑に携わっている方々、特に市民の方々と話していきますと、全くそういう印象を持ちます。

具体的に言いますと、3・11、あの甚大な被害、もうどうなるんだろうかというように考えた後に、なんと半年もたたないうちに、私が一番印象深かったのは、陸前高田でしたが、津波に流された1カ月後、そこにお住まいの一人の女性が、自分の自宅があった場所とおぼしき所に花壇をつくっているのです。

その花壇で、コツコツ、花壇づくりをやっている、その姿に周辺の方々が感動して一緒になって、なおかつ全国から、最終的にはオランダから花材の支援もあるというようなかたちで、陸前高田に素晴らしい花のガーデンが完成した。

当時、私は福島から岩手まで限なく歩き回ったのでありますが、そうした運動に、なんとかこの土地で私たちは生きていくのだという願いを込めた、具体的なそうした活動というものは全体に広がっていたという事を考えてみますと、改めてそう考えるわけであります。

そうした意味で、今日、いくつかのキーワードが出てまいりました。みんなで参加して、多様性を肯定して、様々な彩りにあふれた魅力ある川崎市を愛していこう、つくっていこう。こういう一つの運動と都市緑化フェアは、誠に親和性があるという事で、100周年という事と、この全国都市緑化フェアの出会いと、こういう今まで事例は一つも私の記憶にはありません。こうした出会いがこの川崎市において生まれたという事に対して非常に感動しながら、今日の話をお伺いしました。

突然の指名で何を言っているかよく分からないわけでありますが…。どうもありがとうございました。

○司会（かわさきFM大西社長）

ありがとうございました。

改めまして、当会の顧問、東京都市大学環境学部特別教授の涌井史郎様でございました。ありがとうございました。

以上をもちまして、「川崎市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会 第5回総会」を閉会といたします。

次回につきましては、来年の3月の開催を予定しておりますので、皆様ご予定の方、また改めてご連絡を差し上げますので、どうぞ御参加をお願いいたします。

会場出席の皆様、オンラインで御参加をされました皆様、本日は誠にありがとうございました。

— 了 —